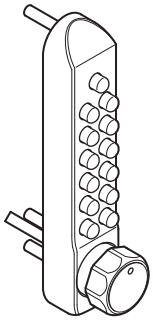
7274632

KEYLEX 500®

KL500
シブタニ SL10 錠
シリンダー取替

# 取扱説明書　（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22291

**防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。**

| 〈記憶番号の記録〉 |
|---|
| 年　月　日 |
| 年　月　日 |
| 年　月　日 |
| 年　月　日 |
| 年　月　日 |
| ただ今の記憶番号 |

## キーレックス 500 シリーズ 保証書

お買い上げ日から１年間は、無料で修理を行なうことをお約束致します。
但し、誤用、取り扱いの不注意、災害、不当な修理や改造等に起因する
故障による場合、さらに本証のお買い上げ日 及び 販売店名の記入のない
場合は、保障期間内でも有料修理になります。

機 種 名：**キーレックス 500 シリーズ**

お買い上げ日：　年　月　日　保証期間：お買い上げ日より１年間

販売店
住所・店名

| 品質ロット No. | 検印 |
|---|---|


株式会社　長沢製作所

NAGA SAWA

東京支店　TEL. 03-5383-1811（代）
FAX. 03-5967-3103

大阪支店　TEL. 06-6783-5091（代）
FAX. 06-6783-5092

福岡出張所　TEL. 092-524-7031（代）
FAX. 092-524-7032

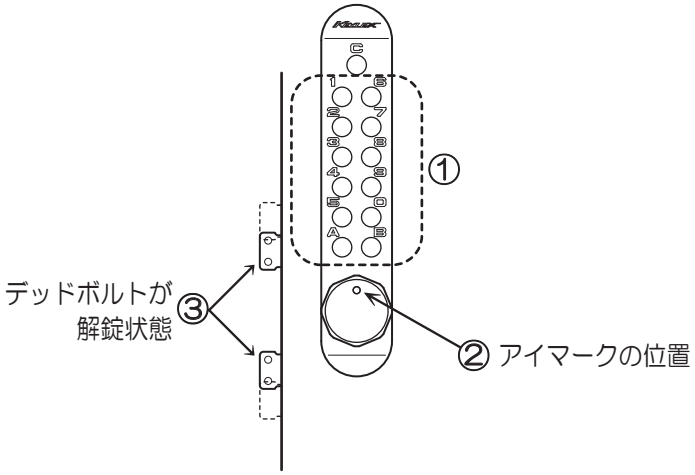
# 基本操作

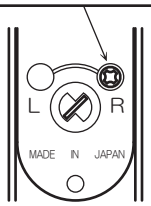
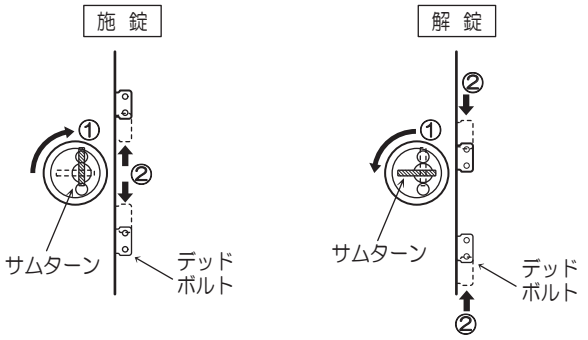
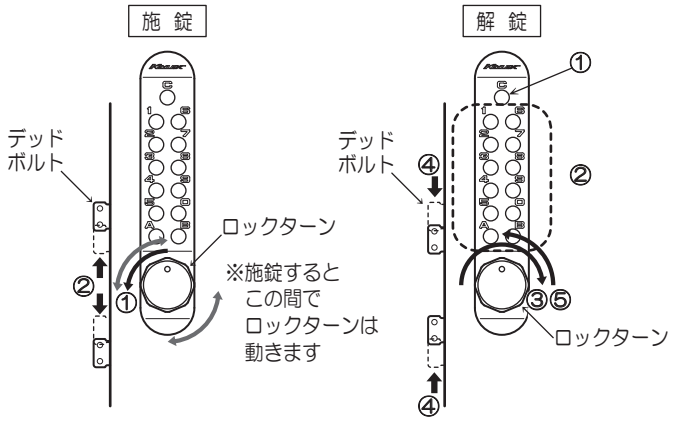
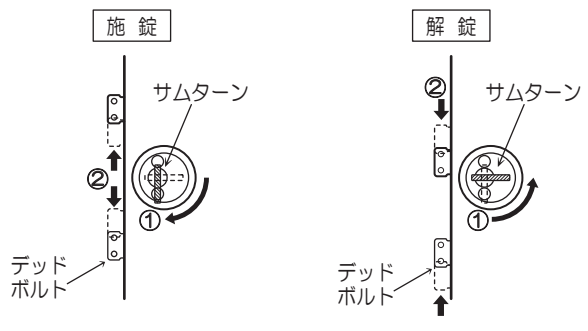
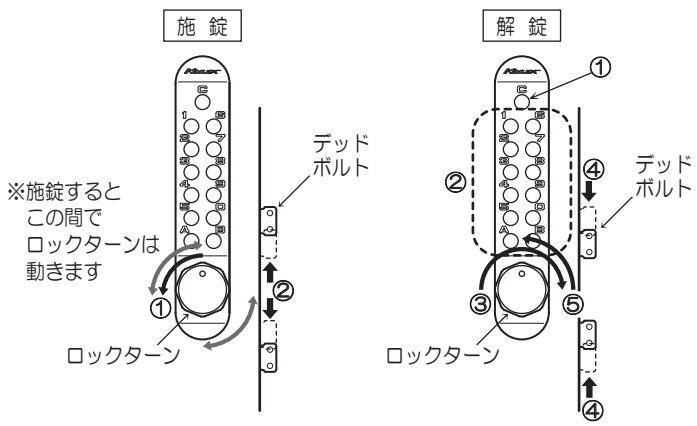
シリンダーでの鍵操作が、ボタン操作に変わります。

ご使用前に確認してください。

① 登録している記憶番号
② ロックターンのアイマークが
　図の位置（真上）にある
③ デッドボルトが解錠状態になっている

※ 図は扉が左勝手仕様です



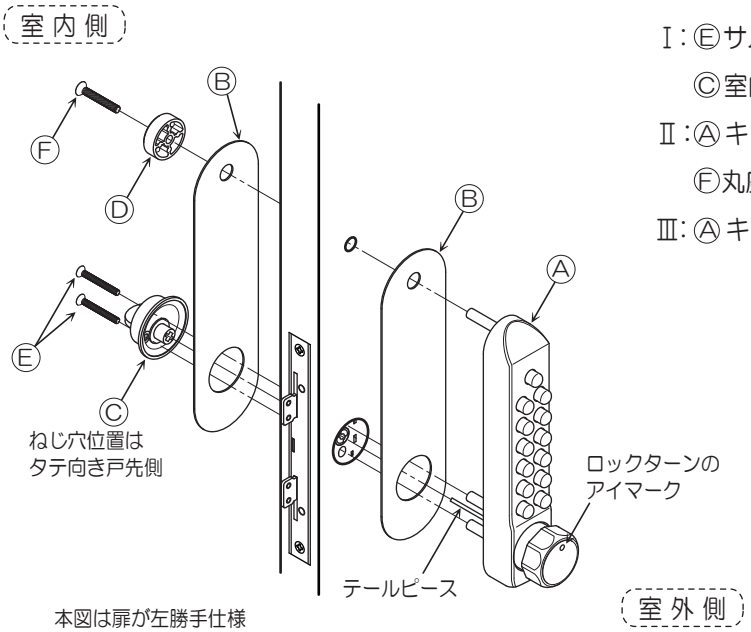

| | 室内側 | 室外側 |
|---|---|---|
| | キーレックス本体裏側 吊元変更ねじ取付位置 R<br>  <br><br>施錠：①サムターンを回し、②デッドボルトが上下に飛び出すことを確認します。<br>解錠：①サムターンを回し、②デッドボルトが内側に収まることを確認します。 | 施錠：①ロックターンを回し、施錠されたことを確認します。<br>解錠：①C ボタンを押し、②正しい記憶番号を押します。<br>③ロックターンを回しきり、解錠されたことを確認します。<br>⑤ロックターンのアイマークを図の位置に戻します。 |
| 扉が左勝手仕様 |  <br> |  <br> |
| 扉が右勝手仕様 |  <br> |  <br> |

※本図は、キーレックス本体裏側 吊元変更ねじ取り付け位置が R 仕様です。吊元変更ねじ取付位置が L 時は対称です。

# 記憶番号の変更手順　扉は開けたままの状態でおこないます

7274632

【１】キーレックス本体を取り外します　　取り外した部材は全て使います。紛失しないようにご注意ください。




本図は扉が左勝手仕様

Ⅰ：Ⓔサムターン座固定ねじ２本をはずし、
　Ⓒ室内サムターン座をはずします。
Ⅱ：Ⓐキーレックス本体と Ⓑ化粧プレートの落下に注意しながら、
　Ⓕ丸座固定ねじをはずし、Ⓓ室内丸座をはずします。
Ⅲ：Ⓐキーレックス本体と Ⓑ化粧プレートをはずします。

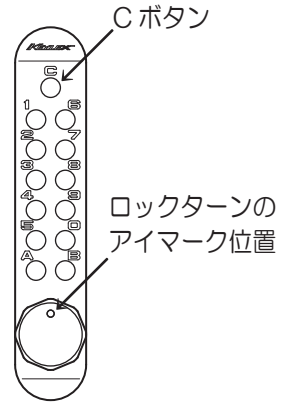
【２】記憶番号の設定変更をします

①ロックターンのアイマーク位置を
下図の位置に固定します。
本体裏側のＣボタンを押します。
⑤まで、記憶ボタンは押さないで
ください。

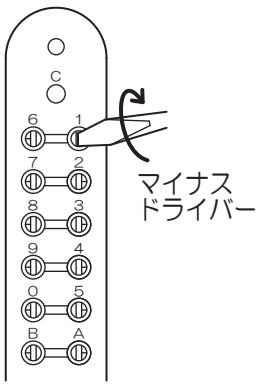
②本体を裏側にし、記憶されている
ロックピンを回転させ
（ロックピンの横溝を外側にする）
すべてをクリアします。

③新規に記憶する番号を必ず記録します。
本紙裏面に記入欄があります。

④新規記憶番号のロックピン横溝を
中央部の横溝にあわせます。

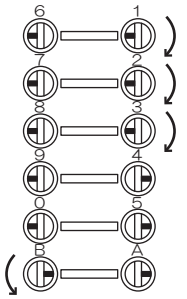



**本体表側**




**本体裏側**

例：Ｂ１２３



⑤新規記憶ボタンを押し、ロックターンが
確実に作動することを確認します。

基本操作　室外側欄を参照します。

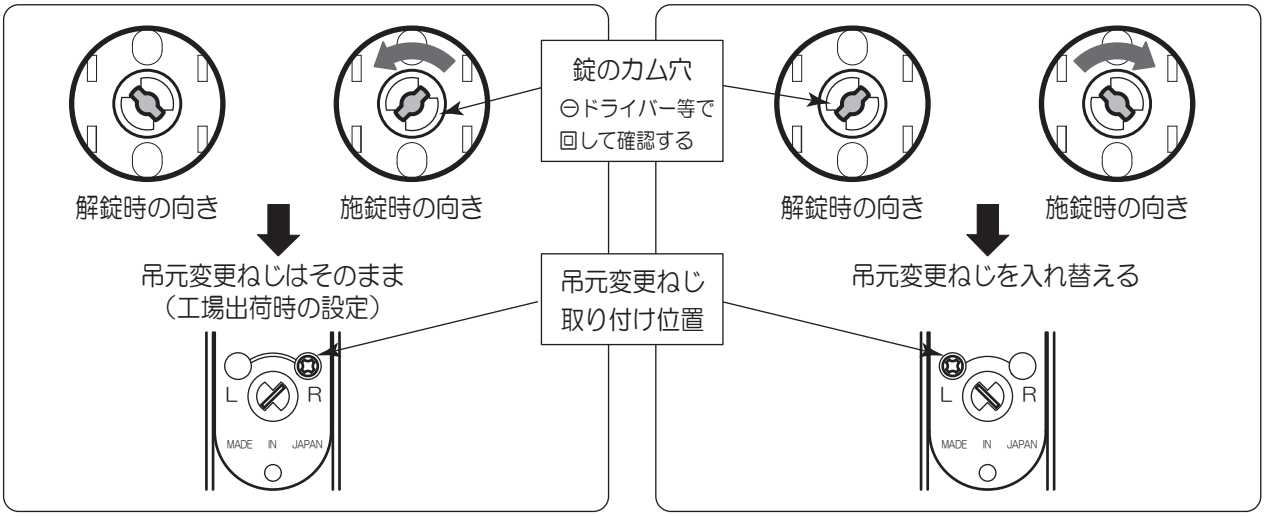
【３】本体を取り付けます　　【１】と逆の順番で取り付けます。

左の基本操作に沿って、作動確認をして完了です。
正しく作動しない場合は、記憶番号と吊元変更ねじの位置を確認してください。

## 錠のカム穴の向きと吊元変更ねじの位置確認

キーレックス500　SL10仕様の吊元変更ねじの位置は、扉の開き勝手にかかわらず、錠のカム穴の位置で決まります。
扉の切欠き穴から見える、錠のカム穴の位置を確認し、対応する吊元変更ねじの位置を確認してください。

⚠ 吊元変更ねじを逆の状態で取り付けた場合、解錠できなくなります。ご注意ください。




## 記憶番号設定に関するご注意

- KL500は1～12桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は関係ありません。
  例）記憶番号　1·2·3　の場合
  1·2·3　と押しても　2·3·1　3·1·2　1·3·2　と押しても解錠できます。
- 1つのボタンにつき設定は1回だけです。　（同じボタンを2度押しする設定はできません）
  例）1·1·2·3　や　1·2·2·3　の設定はできません。

## 注意　危険防止の為に以下をお読みください

**■ 取付ねじのゆるみ**
- 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為定期的に増し締めしてください。

**■ 受座の飛び出し**
- 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。

**■ 他の用途への使用**
- ロックターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。

**◆ 操作上の注意（故障の原因となります）**
- 製品の分解、改造はしないでください。
- デッドラッチ、デッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
- ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。

**◆ 永くご使用頂くために**
- 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
- 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。
  汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。

ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。